

国道1号 宇頭町交差点の対策効果

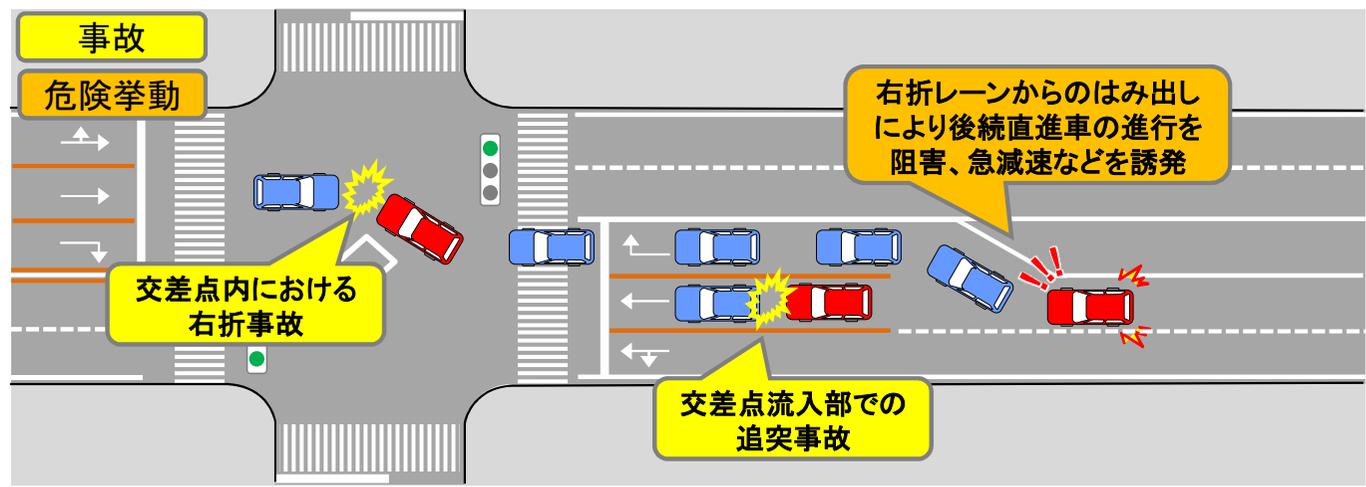
(1) 事故発生状況

- 国道1号 宇頭町交差点では、交差点流入部での追突事故や交差点内での右折時事故が発生。
- H30年4月に「右折レーン延伸」「右折レーンのカラー化」「注意喚起看板「右折車あり」」の対策を実施。

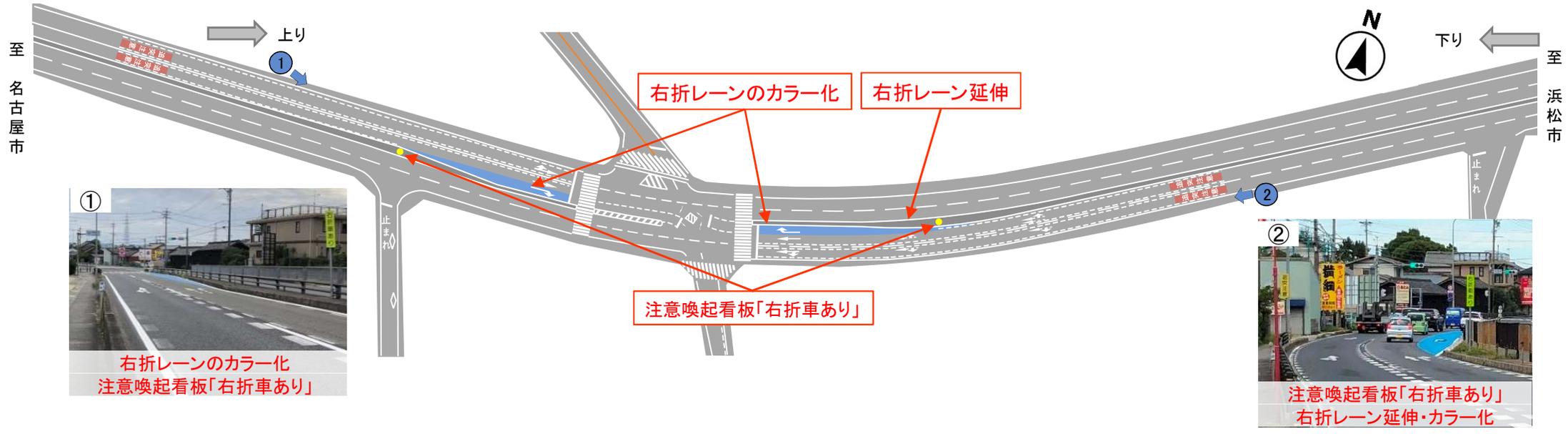
[位置図]



[宇頭町交差点で発生していた事故や危険挙動]



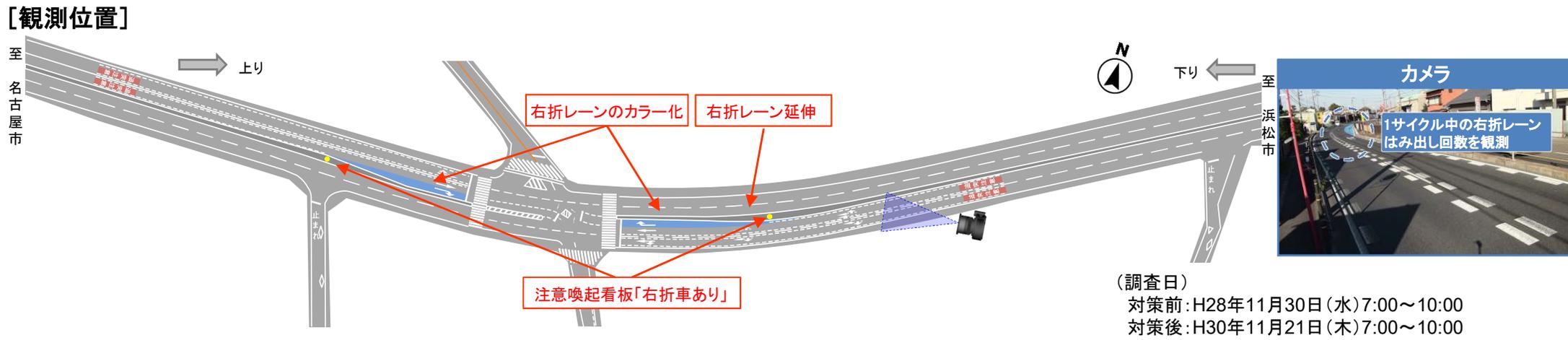
[対策内容]



国道1号 宇頭町交差点の対策効果

(2) 交通挙動変化の分析

- 右折レーン延伸により、1サイクル中の右折レーンのはみ出し回数が41%減少。
- 右折レーンの延伸ではみだし回数が減少したことにより、右折レーンのはみ出しの影響で発生していた後続直進車の進行阻害による急ブレーキが減少するなどの改善も期待でき、右折レーンを延伸した下り方向では急ブレーキ発生率が24%減少。



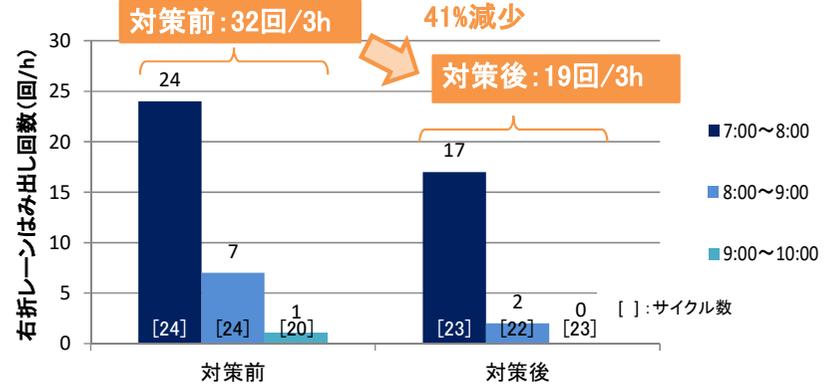
交通挙動による効果

■右折レーンのはみ出し回数が減少
対策により右折レーンに滞留できる右折車の台数が増加し、右折レーンのはみだし回数が32回/3hから19回/3hに減少しました。

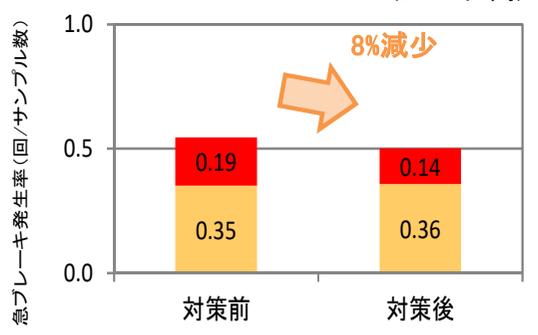
ビックデータに基づく効果

■右折レーンのカラー化などにより、急ブレーキ発生率が減少
対策により、急ブレーキの発生率が上りでは49%、下りでは41%減少しました。

[下り]



[上り]



[下り]

